

第1回保護者セミナーでは、「子どもの自己肯定感を育む褒め方、叱り方」をテーマに、ボーク重子先生より直接ご講演いただきました。

ボーク先生によると、子どもの自己肯定感を育む褒め方として、結果ではなくプロセスを重視して子どもを認めることで、子どもの良い行動を習慣化できるとのことでした。

また、叱り方について、なぜその行為がいけないのか、その結果どうなるのかを明確に「説明する」ことで、子どもは納得し、良い行動を選べるようになると、話されました。

子どもたちの自己肯定感を育むために、家庭教育において、自己肯定感は目に見えないからこそ、親がまず子どものロールモデルとなることが基本であり、その重要性が説明されました。

次回の第2回保護者セミナーは、10月11日（土曜日）を予定しています。

